

平成23年度コロラド在留邦人安全対策連絡協議会の議事要旨

- 1 日時：3月20日（火）12：30から13：40まで
- 2 場所：当総領事館中央会議室
- 3 テーマ：コロラド州を中心とした管轄4州における最新治安・安全状況や医療事情などについて
- 4 出席団体：
当総領事館，コロラド日本企業懇話会（JFA），コロラド日系人会，デンバー日本語補習校，コロラド日本語学校，MEMトラベル社，IACEトラベル社（コロラド州を管轄するラスベガス支店）

5 今次協議会の議事要旨

（1）治安状況（最近の犯罪傾向等）について

➤ 当総領事館からの治安状況説明：

総領事館としても，デンバー市警長，連邦政府治安当局等とも連絡・協力体制を構築しており，在留邦人の方々に安全関連情報を随時提供していきたいと考えている。

米国の経済状況は依然不透明である一方，当館管轄4州においては，近年犯罪発生率は減少傾向にある。これは，治安当局の努力，市民の協力，そして犯罪防止技術の進歩による。しかし，一部地域によっては，凶悪犯罪が増加しているところもあるので，居住地域の治安・安全には常に注意を払う必要がある。また，邦人が，某有名ホテルで就寝中に，部屋に入り込まれ所持品を盗まれたり，某大手スーパーマーケットの店先でひったくりに遭ったりする被害が発生している。また，海外では日本人はおとなしいと思われており，犯罪の標的になりやすい。車を駐車する際には，人目のない，薄暗い場所は避ける方が賢明である。

➤ 各参加者からのコメント：

夜間車を運転していて，後ろから追突された場合に，すぐ車を止めて外に出ると，その場で銃を突きつけられたり襲撃されたりする虞れがある。明るい場所や人通りの多いところまで行ってから車を止めるようにした方が良い。また，車のキーがリモート式なら，車の離れているところからドアのロックをはずす方がよい。車の陰に犯罪者が潜んでいる場合，近くでロックをはずすと，そこで襲撃され車が盗まれることがある。

（2）健康問題（感染症予防対策等）

➤ 出席メンバー（医療関係者）からの説明：

風邪を引いたからといって安易に「病院」には行かない方が良い。人は抵抗力が弱まっているときに病気になる。そういう時は人の多い所、特に病原菌が飛び交っている病院には近づかないようにすべき。

人は手を口や鼻に持っていく習性があるので、予防は何よりも手を洗うことである。手が荒れていたり、傷があるとそこから病原菌が入りやすいので、冬はハンドローションを使うと良い。マスクは当てにならない。うがいには水で行ったほうが、ヨード液うがい薬より効果があるとの報告もある。

風評に惑わされず、正しい情報を得ることが大切である。お勧めはCDC (Centers for Disease Control and Prevention: アメリカ疾病管理予防センター) のウェブサイトであり、同サイトは世界の情報源になっている。日本語を希望の場合は、国立感染症研究所の感染症情報センターが良い。

アメリカでは公衆衛生の一環としてインフルエンザ予防のワクチン接種が推奨されている。個人レベルで受けるものだが、会社では社員全員が受けているところもある。

タミフルは発熱してから24時間以内に服用しなければ意味が無く、アメリカでは日本より入手しにくい。リレンザはよく効くと言われているが、喘息に悪いと言われているので注意が必要である。

(3) 交通事故等の際の留意事項

➤ 当総領事館からの説明：

最近、邦人が交通事故に巻き込まれるケースが増えている。当総領事館としても、在留邦人が不慮の事故に遭わないよう注意を呼びかけ、また不幸にも事故に遭遇した場合には、如何に援護していくかということを常日頃から考えている。先月も、交差点を歩行中の邦人男性が、車にはねられている。昨年の夏に起きた衝突事故では助手席に乗っていた女性が意識不明の重態となって帰国した。身動きができない状態で米国から日本に帰国する際、緊急移送サービス等を利用すると個人で払いきれない高額な請求を受ける場合があり、保険やその適用範囲については慎重に検討する必要がある。今後米国の医療保険に関するセミナー（講習会）等を、一般参加者も対象に入れて、総領事館が実施することを検討したいと考える。

➤ 各参加者からのコメント：

米国では、自己破産している人の多くについては、保険がカバーし切れない莫大な医療費が原因となっている。保険の限度額や適用対象などできるだけ広く契約しておくことが望ましい。安全対策に関する講演会、又は、安全対策連絡協議会を、日本語補習校においても開催していただけないか。安全や健康に

関して興味のある保護者は多いと思う。

（４）緊急連絡網の構築について

➤ 当総領事館の発言：

当総領事館としては、年に１・２度は緊急連絡網のシミュレーションを行いたいと考えている。電話やパソコンのメールでは、緊急時に連絡を行き渡らせることが難しいこともあると考えるので、例えば、各団体の中心人物の携帯電話にテキスト・メッセージを送るといった方法もあり得るので、今後最良の方法を模索していきたい。

６ 今次安全対策協議会のまとめ

（１）今次協議会にご出席いただいた各団体の方々からは、皆様がアメリカの保険制度に関心が高く、特に日本語補習校の保護者の方々は、安全・健康問題に強い関心を抱いているとの意見がありました。こうしたご意見を踏まえ、当総領事館としては、同連絡協議会の各団体から、例えば日本語補習校などの場所をお借りする等の協力を得つつ、米国の医療保険事情他の在留邦人の方々に関心の高い様々なテーマの講演会等を今後実施していくこととしました。

（２）出席者から、当総領事館に対し、緊急連絡網の構築をして頂きたいとの意見が出されました。これを受けて、当総領事館としても、緊急事態の発生に備えて、携帯メールなどを使用した、有事の際に邦人にすばやく情報を提供できるような緊急連絡網を早急に構築していこうと考えております。

７ 最後に

当総領事館は、今後とも、メールマガジン、HP等を通じて、コロラド州に居住される在留邦人の皆様方に一層役立つ領事・安全情報など提供すると共に、今回開催した安全対策連絡協議会、及び講演会などの開催を通じて、海外生活における皆様方の安全と健康管理にお役に立てるようにしていきたいと考えております。